

## 研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学病理病態診断学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年7月

福島県立医科大学 病理病態診断学講座 橋本優子

### ■ 研究課題名

---

甲状腺癌の有用な新規バイオマーカーの同定

### ■ 研究期間

---

2025年7月 ～ 2031年3月

### ■ 研究の目的・意義

---

甲状腺癌には、乳頭癌、濾胞癌、髄様癌、未分化癌などの種類がありますが、中でも乳頭癌が全体の90%以上を占めています。乳頭癌は一般に予後が良いとされていますが、まれに未分化癌などの高悪性度の癌へ進展することがあります。本研究では、甲状腺癌におけるクロードイン10およびクロードイン16というタンパク質の発現を解析します。そして、これらの発現が悪性化に関与しているかどうか、また転移や再発のリスク因子となるか、さらには治療標的となり得るかを検討します。

### ■ 研究対象となる方

---

既存の試料・情報提供いただく期間は2010年1月から2025年5月の間に、福島県立医科大学附属病院甲状腺内分泌外科において、甲状腺癌に対する手術治療が施行され、ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック、凍結検体が保存されている患者さん、当院で病理解剖が施行され、甲状腺癌と診断された患者さんが対象です。

### ■ 研究の方法

---

対象となる患者さんの診療情報から、年齢、臨床病理学的因子、甲状腺癌に認められる遺伝子変異、融合遺伝子、治療内容、および治療後の経過（転帰）などのデータを収集します。遺伝子変異や融合遺伝子については、次世代シーケンサーやリアルタイムPCR法などにより検索します。次世代シーケンサーによる解析には、患者さんの全ゲノム、全エクソンの情報が含まれます。また、

手術で得られたホルマリン固定パラフィン包埋ブロック（FFPE 標本）を用いて、クローディン 10 およびクローディン 16 のタンパク発現を免疫染色により評価します。さらに、凍結検体を用いて、腫瘍細胞内におけるクローディン 10 およびクローディン 16 の発現部位を確認します。加えて、当院で病理解剖が行われ、甲状腺癌と診断された方の甲状腺、甲状腺以外の正常組織を用いて、正常組織におけるクローディン 10 およびクローディン 16 の発現を確認し、甲状腺癌組織での発現と比較します。

### ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年8月1日

### ■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学病理病態診断学講座であり、研究責任者は病理病態診断学講座 橋本優子です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学病理病態診断学講座で利用し解析を行います。

### ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

### ■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

#### 問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部病理病態診断学講座 担当：橋本 優子

電話：024-547-1165 FAX：024-548-4488